

令和7年度府中市立府中第一小学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

◎児童・生徒の資質・能力を育成するため、教育活動で特に重視する4つの視点
→ 【発見すること】【対話すること】【決定すること】【表現すること】

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（児童の学び方）

- ①学習を振り返り、次の学習に生かすことに課題がある。
- ②自分の考えを表現することに課題がある。
- ③学習で分からぬことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することに課題がある。

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ①児童に学習のめあてを意識して取り組ませ、学習のまとめで自らの学習を振り返らせる。
- ②個人・ペア・グループ・全体など、自分の考えを伝え合う場をたくさん設定する。
- ③調べ学習や習熟の時間等において、様々な学習の仕方を提示して、児童が学び方を選択できるようにする。

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す児童の学びの姿

- ①自分の学習を振り返り、次の学習に生かす子【発見】
- ②自他の考えを大切にする子【対話・表現】
- ③自分の課題に応じて学習する子【決定】

(2) 目指す授業像

- ①児童が学習の過程や成果を振り返り、自己の学習への気付きを促す授業【発見】
- ②互いの考えを生かして課題を解決していく協働的な学びを大切にした授業【対話・表現】
- ③児童が主体的に学習を進めることができる個別最適な授業【決定】

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	学習課題に対して自分で考えをもち、考えを交流したり発表したりする授業展開をし、思考力や想像力を育成する。【対話・表現】	音楽	楽曲への理解を深め、表現することに向けた思いや意図をもち、友達とその思いを共有して学習を進めたり、表現の技能を身に付けたりすることで、豊かな表現力を育成する。【発見・対話・表現】
算数	「つかむ」「考える」「広げる」「まとめる」「深める」「振り返る」授業展開を意識する。問題を自立的、協働的に解決しながら表現力を育成する。【対話・表現】	図画工作	グループワーク、鑑賞の時間を設けることで、友達の表現の良さから造形的な見方・考え方を深め、児童の表現力を育成する。【発見・対話・表現】
社会	学習の問題を追究・解決する活動を意識する。社会的事象を具体的に調べ、事実をもとに考えたことを表現する力を育成する。【対話・表現】	家庭	自分の生活経験と振り返りながら課題を見付け、課題解決を通してよりよい家庭生活を実現するために大切にしたいと考えられるようになる。【発見・決定】
理科	事象提示や観察、実験などの活動を充実させ、児童が目的意識をもって問題解決に取り組み、考えを表現できるようにしていく。【発見・表現】	体育	運動経験や技能の差について自覚していくことで、他者と関わり合いながら技能を高め合うことができるよう、互いの動きを見合う活動や対話場面を増やしていく。【対話・決定】
生活	他教科で学習したことを活用することで多様な方法による表現ができるようにしていく。 児童同士の意見交換を行い、多様な表現を学び合うことができるようにしていく。【対話・表現】	外国語	児童同士や教師とのコミュニケーションを増やし、ロールプレイを取り入れることで、実用的な会話力を強化していく。【対話・表現】

(2) 児童用タブレット端末の活用【市共通】

- ・フィグジャムやスライド、スプレッドシート等を活用して、自分の考えを表現する。【表現】
- ・e ライブラリアドバンスを活用したり、タブレットを活用した学習記録も行ったりして、自らの達成度を把握させる。【発見】